

会 議 録		令和6年12月3日作成	令和10年3月末日廃棄
会議名	京都府綾部警察署協議会（令和6年度第3回）		
開催日	令和6年12月3日（火曜日）		
時 間	午後1時30分から午後3時までの間（90分）		
場 所	京都府綾部警察署 講堂		
出席者	大槻会長、上原委員、藤田委員、玉川委員、四方委員 （欠席 塩見副会長、吉田委員）		計5人
	署長、副署長、警務課長、地域課長、広聴係長		計5人
諮 問 事 項	綾部警察署における若手警察官の育成について		
会 議 内 容	1 会長挨拶		司会 副署長
	2 署長挨拶		
会 議 内 容	3 協議		司会 会長
	諮問事項説明		
	綾部警察署における若手警察官の育成について～署長		
	【委員】綾部署の特性をいかし、親身になった指導育成がなされていると感じた。 正に、綾部署でなければ出来ない人材育成がなされている。		
	【委員】警察は独特な組織であるように感じるが、離職率は、ほかの職業と比較すれば高いのか。		
	【警察】昨今の民間企業やほかの公務員における離職率を見ていると、ほかの職業と比較して高いとは感じていない。 警察学校は大学や高校とは異なり、職業訓練学校のため給与が支給される。ある一定の水準に達するためには厳しい訓練や知識、技術の習得が必要とされる。厳しい訓練や授業についていけない者、警察学校での集団生活や規律に馴染めない者等が辞職している。		
	【委員】警察学校で水準に達していない者は留年するのか、それとも退職しなければならないのか。		
	【警察】教官が親身になって懇切丁寧に指導しており、成績が悪く卒業出来ないといったケースは聞いたことがない。		
	【委員】今回の卒業生の最低年齢は22歳とのことだが、高校卒業者の採用はしていないのか。		

【警察】4月と10月に、高校卒業程度者と大学卒業程度者が同時に警察学校に入学するが、教養期間に差があり卒業する時期が異なる。今回、当署に配置となった3人は大学卒業程度者である。

【委員】私が経営する会社でも、リクルートや新入社員の教育、育成も担当しているが、思いは同じで会社に長く働いてほしいと考えている。新任配置者に対する署長の姿勢は非常に勉強になった。特に、親御さんに対する対応や思いやりは、綾部署らしい温かみを感じられ、とても良かった。

【委員】綾部署は他署と比較すると、事件や事故の取扱いが少なく経験が積みにくい反面、一つの事案に対して丁寧な指導、教育が出来るとの説明であった。今後、綾部署に配置された3人が多忙な警察署に配置換えになった時に、綾部署で学んだ基本が生かされると思う。私は、この3人が綾部署に配置になったことは非常に良かったと感じた。

【委員】新任配置者の配属先が分かるのはいつ頃か。

【警察】今回の場合は、発令の約2週間前に内示があった。この2週間の間に、住む場所等を探すなどの準備を行った。

【委員】私が勤務する京都府の高校卒業程度者の採用では、地元出身者が多く、新任配置後も実家から通勤することが多い。警察の場合は、地元出身者の割合は多いのか。

【警察】京都府内の出身者が多く、京都府外の出身者でも大学が京都府内であることが多い。

【委員】警察の勤務は不規則な印象があるが、プライベートは自由なのか。

【警察】プライベートは当然にあり自由だが、警察は、自衛隊や消防と同じで危機管理を担う組織である。有事に備え、いつ招集があっても対応できるように連絡体制は保持している。

【委員】綾部署に新任配置となった警察官は、自分が受けた指導教養を経験として、今後、指導する立場になった時には、さらに一工夫され人材育成に貢献されることを期待する。

【委員】警察は法的根拠に基づいた仕事であるが、法律は改正されていくため、日々の研修、自己研鑽はしているのか。

【警察】警察官個々の質を上げるためにも様々な研修や教養がある。例えば、パソコン内には常に教養素材があり、個人がいつでも教養が受けられるような電子教養システムもある。

【委員】警察官の階級が上がった際は、その階級に見合った教養を受けているのか。

【警察】昇任すると、警察学校等に入校し、昇任時教養を受ける。

【委員】交番勤務は、府民対応、市民対応の最前線であり、コミュニケーション能力が大切となる。新任配置された警察官にはどのような指導をするのか。

【警察】若手全般に言えることであるが、人との会話が苦手な者が多いと感じる。こういった特性を理解し、今の時代にあった適切な指導をすることが大切である。

会 議
内 容

令和6年度第4回京都府綾部警察署協議会は、令和7年2月ころに開催予定である。

以上

第3回京都府綾部警察署協議会の開催状況

